学校番号	３２０

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	4	年次	1
使用教科書	新編国語総合（大修館書店）						
副教材等	「図でつかむリード現代文１」（啓隆社）　「常用漢字ダブルクリア四訂版」（尚文出版） 「新版六訂カラー版新国語便覧」（第一学習社）　「基本の古文１」（尚文出版） 「要点プラス体系古典文法」（数研出版）						

１ 担当者からのメッセージ

国語総合では、国語の基礎基本を定着させることを目標に、学習を行っていきます。漢字を読み書きする力、文章の読解力等をつけること、人の意見を聞くことで、自らのものの見方や感じ方、考え方を豊かにしていきましょう。

２ 学習の到達目標

1 現代文と古典の様々な教材を取り上げ、幅広く学習することで、日本文学の内容を的確に捉え、理解する力を高める。
2 現代文と古典に用いられている語句の意味や用法、表現上の特色や構造への理解、文章に表れた思想や感情の読み取りなどを通して、国語についての認識を高め、言語感覚を養う。
3 優れた表現に親しみ、古代から続く日本と中国の文化の関係を考える。
4 現代文と古典に表れたその時代の思想や感情に触れ、自らのものの見方、感じ方、考え方を豊かにするとともに、国語に親しむ態度を身に付ける。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	現代文と古典を読む力を進んで育てるとともに、国語についての理解や関心を深めようとしている。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり，話し合ったりして，自分の考えをまとめ，深めている。	相手や目的，意図に応じた適切な表現による文章を書き，自分の考えをまとめ，深めている。	現代文と古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び現代の言葉の特徴や決まりなどの理解を深め、知識を身に付けている。
主たる評価方法	・学習活動への参加姿勢や態度 ・ノート，プリント	・学習活動における発言内容や態度 ・ノート，プリント	・レポート・感想文など作成した文章 ・ノート，プリント ・定期考査	・学習活動における発言内容や態度 ・ノート，プリント ・定期考査	・学習活動における発言内容 ・ノート，プリント ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	古文入門	「ねずみの婿とり」 (沙石集)	○	○			○	a 古文を学習する意義を知り、今後の学習に意欲を持つ。 a 伝統的な言語文化への興味・関心を広げ、古典を尊重し継承していく態度を育てる。 b 古文と現代文の違いを理解し、今後の学習のポイントを把握する。 e 国語辞典を用いて重要語句の意味用法を調べ、理解する。 e 歴史的仮名遣いについて理解する。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
	随想	「ワンダフル・プラネット」 (野口聡一) 「メッセージ探しの旅」 (加賀美幸子)	○	○		◎		a 謎を発見し、探求しようとする好奇心の大切さについて、目を向けるきっかけとする。 a 重要語句とそれが使われる文脈を理解し、言葉の背景に興味をもつ。 b 自らの「学び」について考える契機とし、これからの高校生活への抱負を発表し合う。 d 随想の読み方を習得する。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
	説話	「児のそら寝」 (宇治拾遺物語)	○			◎	○	a 説話を読み、古文の読み方の基礎を確認する。 d 登場人物の行動に注目して読み、場面の展開を把握する。 e 文脈に沿って作品を読み味わい、古文を読む楽しさ、古典世界の広がりを理解する。 a 場面状況と登場人物の行動や心情を把握し、話の展開を理解する。 e 品詞分類を理解する。 e 動詞と活用形を理解する。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
	小説1	羅生門 (芥川龍之介)	○	○	○	◎	○	a 文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 b 作者の人間観、社会観などを読み取り、それに対して自分の意見や考えを持つ。 b 芥川龍之介の他の作品について調べ発表する。 c 感想文を書き発表し合う。 d 表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 d 小説の文章に触れて、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 e 古典とのつながりについて理解する。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
2学期	物語	伊勢物語 『芥川』『筒井筒』	○			◎	○	a 文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 d 音読を通して文章のリズム感を味わい、表現上の技巧を確かめる。 e 平安時代のみやびな貴族文化と社会的状況を具体的な描写からとらえる。 e 平安時代の恋愛について考えをめぐらす。 e 形容詞と形容動詞を理解する。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績

	評論一	「水の東西」 （山崎正和）	○	◎		○	○	a 評論の概要を理解する。 b 文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 b この文章の構成や展開の特徴について指摘し、その効果を話し合う。 d「水」を媒体とした、日本と西洋の文化の違いを考察する。 e 言葉が文脈の中で持つ意味と、重要語句がどのように使われているかを理解する。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
	随筆	徒然草 『高名の木登り』 『奥山に猫またといふもの』 （吉田兼好）	○			◎	○	a 随筆に表れた作者の考えを踏まえて、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 d 音読を通して文章のリズム感を味わい、表現上の技巧を確かめる。 e 助動詞と助詞の用法を理解する。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
	小説二	『バスに乗って』 （重松　清）	○	○		○		a 現代小説に触れ、自己に引きつけながら読む態度を養う。 a 登場人物の心情を想像し小説を読む楽しさを知る。 b 河野さんとの出会いを通して少年の変化、成長について話し合う。 d 小説の時間の流れ、場所の移動などをつかみ、全体の構成を理解している。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
2学期	漢文入門	訓読のきまり 故事成語 『守株』『推敲』	○				◎	a 漢文に親しみ、漢文の表現に慣れる。 a 比較的短く、話が具体的で展開の分かりやすい故事・逸話を読み、漢文に親しむ。 e 本文を訓点に従って音読し、書き下し文に改める。 e 故事成語の由来と意味を知り、正しい使い方を身に付け、言語感覚を豊かにする。	
	小説三	「夢十夜」 （夏目漱石）	○	○		◎	○	a 象徴性の高い小説に興味を持ち、その寓意を読み深める。 b「夢十夜」の他の作品を読み、自分が気に入った作品について、そのあらすじや印象に残った点が分かるように話す。 d 作品の構成・展開を正しくとらえ、生き生きとした描写を味わい、人間や生と死についての考えを深める。 e 登場人物の心理や状況を理解し、人間社会、生と死についての考えを深める。 e 日本の近代文学の歴史の概略を理解する。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績

	評論二	『ペンギンはなぜ一列になって歩くのか』 『生きることと食べることの意味』	○				○	a 筆者が体験したことを読み取り、自然への興味, 関心を喚起し、知的好奇心を刺激する。 a「食べる」という日常的な行為を通し生命の本質について考える。 e 重要語句とそれが使われる文脈を理解し、言葉の背景に興味をもつ。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
3学期	論語	学而第一 学問のすすめ	○				○	a 漢文を読むことに慣れる。 e『論語』の内容を正確にとらえ、学問と人生についての孔子の考え方を理解する。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
	小説四	『鏡』 （村上春樹）	○			◎	○	a 人間や社会についての考えを深めようとする。 d「僕」はどのような人物で、これまでの生き方や考え方などを把握する e 語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。